

特定事業活動における固定資産税課税免除管理表

記入例

納税義務者（氏名又は名称）：株式会社郡山 代表取締役 郡山 太郎
電 話 番 号（日中の連絡先）： 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

該当資産が課税免除の適用を受け始めた年度を記入します。

課税免除対象年度		令和〇年度 ～ 令和〇年度		取得期間	令和〇年 〇月 〇日 ～ 令和〇年 〇月 〇日				
土 地	所 在 ・ 地 番		地 目	登記地積 (㎡) 対象地積 (㎡)	家屋の建設 着手年月日	取 得 年 月 日	除却等 の有無	課税 免除 開始 年度 (和暦)	
家 屋	所 在 (家屋番号)		種 類	構 造	延床面積 (㎡)	取 得 年 月 日			
償却資産	No.	種 類	名 称		数 量	取得価額 (円)			事業の用に供した年月日
土 地	郡山市朝日一丁目21番地 1		宅地	10,000 2,000	令和3年 〇月 〇日	令和〇年 〇月 〇日	有・無	3	
					年 月 日	年 月 日	有・無		
					年 月 日	年 月 日	有・無		
家 屋	郡山市朝日一丁目21番地 1		工場	鉄骨造	3,000	〇〇年 〇月 〇日	有・無	3	
						年 月 日	有・無		
						年 月 日	有・無		
償却資産 (*)	1	構築物	受変電設備		1	500,000	令和〇年 〇月 〇日	有・ 無	3
	2	構築物	照明設備		1	1,000,000	令和〇年 〇月 〇日	有・ 無	3
	3	機械及び装置	洗浄機		1	2,000,000	令和〇年 〇月 〇日	有・ 無	3
	4							資産を除却や移動等がある 場合には「有」に○を記入し ます。	
	5								
	6						年 月 日	有・無	
	7						年 月 日	有・無	
	8						年 月 日	有・無	
	9						年 月 日	有・無	
	10						年 月 日	有・無	
	11						年 月 日	有・無	
	12						年 月 日	有・無	
	13						年 月 日	有・無	
	14						年 月 日	有・無	
	15						年 月 日	有・無	
	16						年 月 日	有・無	
	17						年 月 日	有・無	
	18						年 月 日	有・無	
	19						年 月 日	有・無	
	20						年 月 日	有・無	
償却資産合計件数		2	件 ←最終頁に、償却資産で継続する合計件数(免除1年度目以降の継続分)を記載してください。						
(*) 償却資産の所在(設置場所)		郡山市朝日一丁目21番1							

【記載上の注意事項】
(1) この管理表は、前年度までの課税免除の適用となった固定資産について、全て記載してください。
(2) 「除却等の有無」の欄については、申告を行う年の1月1日現在の状況で該当する資産に○をつけてください。除却等には、取り壊しや廃棄のほか、市外への移動、売却等による所有権移転、対象事業の用に供しなくなった場合も含まれます。
(3) この様式中の土地、家屋、償却資産の記載欄の増減は、適宜調整してください。